

【消防団が秋の火災防御訓練を実施】

11月8日（日）、秋の全国火災予防運動の事業として、消防団畑野分団が、非常招集&火災防御訓練を実施しました。

早朝7時のサイレンで消防団員が非常招集され、広野地内の消防水利河川から消防ポンプ3台を中継して放水する、山林火災を想定した訓練を実施しました。



今年はコロナウィルス感染症の拡大防止のため、夏季訓練や水防訓練、ポンプ操法大会などが中止となって訓練が十分にできていない中ではありましたが、畑野分団の事業として実施していただきました。この訓練は、消防団員に機材・器具の取り扱いに習熟させるとともに各団員の中継・連携手法、指揮・伝令手段など火災防御の中継実践に対応できる基礎をつくることを目的に実施したもので、訓練後にも、より安全で迅速な行動がとれるよう全員で操作手順等の確認を行いました。



冬の訪れとともに火気を使う機会が多くなる時期を迎えて、火災出動がないことを願っています。